

音源・映像・実演を交えて
楽譜などの演奏資料を読
み進めることで、専門的な
テーマに気軽に触れて頂
ける市民講座です。
皆様のご参加をお待ち
しております。

定員 裏面各講座の紹介を
ご参照ください。

申込受付 各講座の開講初日
1ヶ月前より開始
※申込方法は裏面をご覧ください。

開場 開始時間の30分前
※受講料は当日受付にて頂戴いたします。

要申込・有料

でんおん 連続講座

伝音セミナー

日本の希少音楽資源にふれる

申込不要・参加無料

日本伝統音楽の

講座に参加するのは初めて
という方にも、気軽に受講
いただけるセミナーです。
是非ご参加ください！

定員 各回につき先着50名

開場 午後2時

- 第6回 日本の作曲家を聴く(その2)
～能と日本の現代音楽～
11/10 (木) 講師: 竹内 直 (日本伝統音楽研究センター非常勤講師)
- 第7回 舞楽いろいろ(その2)
～映像でめぐる地方の伝承～
12/1 (木) 講師: 田鍬 智志 (日本伝統音楽研究センター准教授)
- 第8回 徳川夢声で聴く小説『宮本武蔵』
2017.2/2 (木) 講師: 中安 真理 (日本伝統音楽研究センター非常勤講師)
- 第9回 下掛宝生流の謡を聴く
2017.3/2 (木) 講師: 高橋 葉子 (日本伝統音楽研究センター客員研究員)

- F 常磐津節実践入門(その4)
11/8(火)～2017.3/7(火)【全8回】
講師: 常磐津若音太夫(竹内有一)
(日本伝統音楽研究センター准教授)

- G 京都の^{きん}琴(その2)
2017.1/28(土)・2/4(土)・2/11(土・祝)【全3回】
講師: 武内 恵美子 (日本伝統音楽研究センター准教授)

- H 音楽実践をもって徳を積む
～平安後期・鎌倉期の管絃講(往生講式)、そのころ～
2017.3/10(金)・3/11(土)【全2回】
講師: 田鍬 智志 (日本伝統音楽研究センター准教授)

講座内容の詳細は裏面に掲載しています。▶

会場 京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター

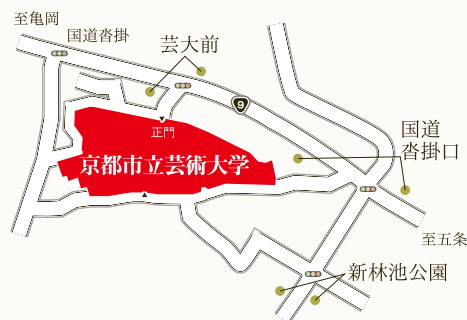
京都市西京区大枝杓掛町13-6 (新研究棟7階)

阪急桂駅東口バス停より ●京阪京都交通バス1・2・13・14・25・28系統乗車約20分、
「芸大前」下車、徒歩すぐ

JR京都駅【C2のりば】より ●京阪京都交通バス2・14・28系統に乗車、「芸大前」(約45分)
下車、徒歩すぐ

※運行時刻、その他交通機関についての詳細情報は、各社のホームページをご確認ください。

主催 ●京都市立芸術大学 ●<http://www.kcua.ac.jp>
日本伝統音楽研究センターホームページ ●<http://w3.kcua.ac.jp/jtm/>
日本伝統音楽研究センター公式Facebook ●<https://www.facebook.com/kcua.rcjtm/>



伝音セミナー

日本の希少音楽資源にふれる

定員 | 各50名 会場 | 新研究棟 7階・合同研究室 1

申込不要・参加無料

第6回 日本の作曲家を聴く(その2) ～能と日本の現代音楽～ 11月10日(木) 14:40～16:10

講師 | 竹内 直 (日本伝統音楽研究センター非常勤講師)

能と日本の現代音楽, この二つの領域はどうやら相性が良いようで, 多くの作曲家が能に取材した作品を書いています。今回は, 同じ題材にもとづく作品を中心に音源を聴いてみたいと思います。



第7回 舞楽いろいろ(その2) ～映像でめぐる地方の伝承～ 12月1日(木) 14:40～16:10

講師 | 田鍬 智志

(日本伝統音楽研究センター准教授)

舞楽には宮内庁式部職楽部など中央の伝承に対し, 日本海沿岸や静岡・宮城など地方に舞楽の伝承があります。両者は曲名や装束に多少の共通点があるものの, 音楽や舞には著しい相違があります。講師が長年撮りためた映像により, 地方舞楽の世界をご紹介します。



第8回 徳川夢声で聴く 小説『宮本武蔵』

2017年 2月2日(木) 14:40～16:10

講師 | 中安 真理 (日本伝統音楽研究センター非常勤講師)

古くから宮本武蔵を題材にした作品は数多くありますが, なかでも昭和10年から14年にかけて新聞に掲載された吉川英治の小説『宮本武蔵』は国民的人気を博しました。今回は, 大正から昭和にかけて多分野で活躍した徳川夢声の朗読による, 昭和38年のレコード音源(音楽・効果音つき)をとりあげ, 名場面を中心にお聴きいただきます。



第9回 下掛宝生流の謡を聴く

2017年 3月2日(木) 14:40～16:10

講師 | 高橋 葉子

(日本伝統音楽研究センター客員研究員)

能のワキ方は, 主役のシテの物語を引き出す大事な役割を果たします。近年京都でもお馴染みになった下掛宝生流は, 明治の宝生新をはじめ数々の名人を輩出して近代の能を牽引してきました。また一方で, ワキ方は謡の専門家として謡文化の興隆を支えてきました。流儀の歴史や謡の特徴に触れながら, 下掛宝生流の名演をお聴きいただきます。



でんおん連続講座 申込方法 ◀.....▶

はがき・FAX・電子メールのいずれかの方法により, 以下の項目についてご記入の上, お申込みください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号(FAX番号) ⑤希望する講座

.....▶ 申込先・問合せ先

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
京都市立芸術大学 事務局連携推進課 (事業推進担当)

TEL 075-334-2204 FAX 075-334-2241

E-mail public@kcuu.ac.jp

要申込・有料

でんおん連続講座

F 常磐津節実践入門(その4)

11月8日(火)～2017年3月7日(火)

各10:40～12:10【全8回】

※実施日は下記に記載しています。

講師 | 常磐津若音太夫(竹内有一)
(日本伝統音楽研究センター准教授)

定員 | 10名 受講料 | 5,000円

会場 | 新研究棟 7階・合同研究室 2



京都生まれの初世常磐津文字太夫が創始し江戸歌舞伎で大成させた常磐津節。古典曲を題材に, 作品の構成や特徴, 表現技法を考察しながら, 浄瑠璃(語り)と三味線, それぞれの演奏体験を深めます。

第1回(11/8) 課題設定とビデオ視聴
第2回(11/22) 課題研究(演奏実践)
第3回(12/6) 課題研究(演奏実践)
第4回(1/10) 課題研究(演奏実践)
第5回(1/24) 課題研究(演奏実践)
第6回(2/7) 課題研究(演奏実践)
第7回(2/21) 試演会
第8回(3/7) まとめと評価

G 京都の琴(その2)

2017年1月28日(土)・2月4日(土)・2月11日(土・祝)

各13:00～16:10【全3回】

講師 | 武内 恵美子 (日本伝統音楽研究センター准教授)

定員 | 30名 受講料 | 3,000円

会場 | 新研究棟 7階
合同研究室 1



昨年度に引き続き, 江戸時代の京都で琴を演奏した人物を取り上げ, 京都における琴の世界のあり方やどのような関係性が保たれていたのかを紹介し, 毎回琴の演奏体験講座も行う予定です。

琴の体験は受講人数によって1張を数人で使用していただく場合があります。ご所有の楽器をお持ちくださっても結構です。基本的に初心者の方の体験を想定しておりますので, ある程度以上のレベルの方へのレッスンは致しかねます。(詳細はお問い合わせください。)

H 音楽実践をもって徳を積む

～平安後期・鎌倉期の管絃講(往生講式)、そのころ～

① 2017年 3月10日(金) 13:00～16:10

② 2017年 3月11日(土) 14:30～16:30

【全2回】*1

講師 | 田鍬 智志

(日本伝統音楽研究センター准教授)

定員 | 30名

受講料 | ① 1,000円 ② 志納*2

会場 | ① 新研究棟 7階・合同研究室 1

② 真宗高田派本山 専修寺京都別院

- 京都市バス26系統に乗車,「ユースホテル前」下車徒歩5分
- 京福電鉄北野線鳴滝駅下車徒歩20分
- JR嵯峨野線太秦駅下車徒歩30分



平安後期には, 法華経などが説く音楽供養による功德をもって往生/成仏をめざす「管絃往生」思想が僧や公家に広まります。それを実践する講会が管絃講(往生講式)です。阿弥陀浄土を讃嘆する式文と, 唄をつけた雅楽曲とが交互に配されます。2日目には, 楽譜史料から推定される当時の雅楽の音楽様式により管絃講を行います。

① 講座 平安後期・鎌倉期雅楽の音楽様式と管絃講(往生講式)について
② 第4回 管絃講 厳修(於:専修寺京都別院)

*1 この講座はいずれか一日のみの受講も可能です。

*2 二日目にご来場の皆さまからお預かりした浄財は, 東日本大震災・熊本地震など災害復興義援金として全額寄付いたします。